

射水市立塚原小学校活動報告

◆あいさつ運動

毎月1日、15日の朝、PTA、地域の方と一緒に運動に取り組んだ。「挨拶あふれる学校にしよう」と、生活・代表委員会の児童を中心に挨拶を交わし、元気な声で挨拶する子やさわやかな態度の子を、「あいさつ名人」に認定し、お昼の放送で紹介した。



◆米作り体験活動

田植え体験

5月13日(火)、5年生は学校田での田植えを体験した。指導して下さる方の話を聞き、だんだんとコツをつかんで要領よく作業を進めていた。冷たい泥の中に裸足で入り、自分の手で苗を植えた感覚は、きっと子供たちの忘れられない思い出となった。



稲刈り体験

5月に学校田に植えた苗が成長して収穫の時期を迎え、9月16日(火)に稲刈りを行った。鎌を使っての手作業での稲刈りや落ち穂拾いにも汗を流しながら一生懸命取り組んだ。子供たちは、米一粒一粒に感謝しながら感謝して食べたいという思いをもった。



◆塚原名産「白ネギ」作りを体験

3年生は「白ネギ」作りを体験した。地域のネギ作り名人の方に、実際の苗植えの機械を用いて体験させていただき、関心をもつ子供もいた。こまめに草取りをするなどお世話をしたり、ネギについて調べたりする中で地域の特産品について理解や愛着を深めていた。



◆その他の活動

- 学校花壇整備には、美化・栽培委員会の児童を中心に全校児童が携わり、花を育てる心や学校や地域をきれいに整備し、彩る気持ちを育んだ。今年度は大阪万博開催を受け、世界平和や地域の発展を願ったデザインの花壇をつかった。
- 4年生は、「環境チャレンジ10」に取り組んだ。家庭から排出する二酸化炭素を減らそうと夏休みにエコ活動を実施した。実施した成果や活動に取り組んだ思いをポスターにしたり発表したりして、全校や地域にも広めた。
- 校区を歩いて巡る「塚原ウォーク」では、通り道に落ちているゴミを拾う清掃活動を行った。
- 書き損じはがきの回収を呼びかけ、集まったハガキをユネスコ協会へ届けた。
- 夏休みに親子で除草等の環境整備作業を清掃したり、卒業を控えた6年生が校舎を感謝の気持ちを込めて清掃したりした。

●今後の抱負

- ・地域への挨拶の輪を広げていきたい。進んで明るく元気な声で挨拶をしていきたい。
- ・遠く離れた人や外国で困っている人を助けるための募金や援助活動への意識を高めたい。

